



Middleware

Elmic

MirrorLink(クライアント)対応 ミドルウェア

Ze-PRO[®] Mirror (Client)

Ze-PRO Mirror (Client)は、車載ディスプレイとスマートフォンを双方向でつなぐ通信規格“MirrorLink[®]”の、クライアント(車載ディスプレイ側)機能を実現するためのミドルウェアライブラリです。

MirrorLinkは、CCC(Car Connectivity Consortium)によって策定された規格で、車内環境に最も適した形でスマートフォンと連携させることができます。

ドライバーは運転をしながらも、スマートフォン上のアプリを利用することができるよう、安全性に考慮された仕様になっています。

MirrorLink[®]



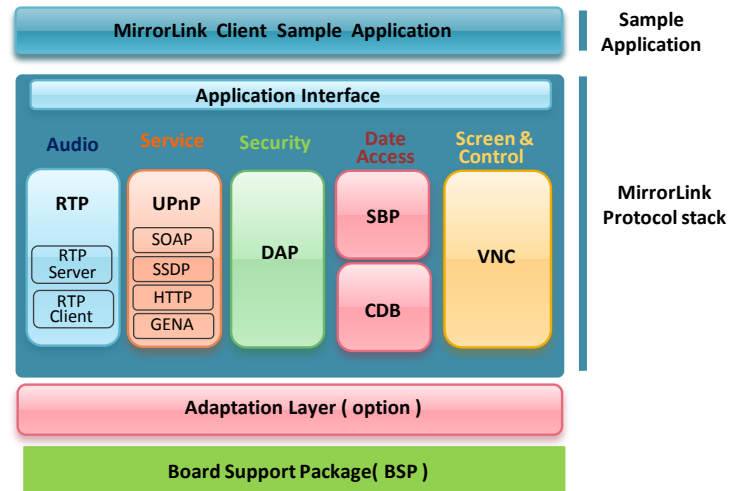
概要

MirrorLinkプロトコルスタックとサンプルアプリケーションで構成され、BSP*1とのインターフェースをとるアダプテーションレイヤを構築することで、容易にターゲットハードウェアに実装が可能です。

- MirrorLink 1.1 準拠のプロトコルスタック
- CPU / OS 非依存

OS実装実績: Linux, Android, Windows, ITRON, T-Kernel, RTX

CPU実装実績: SH7269, R-Mobile A1, RZ/A1, R-Car E1, R-Car E2, R-Car H2, R-Car M2, i.MX5, i.MX6, Atlas6



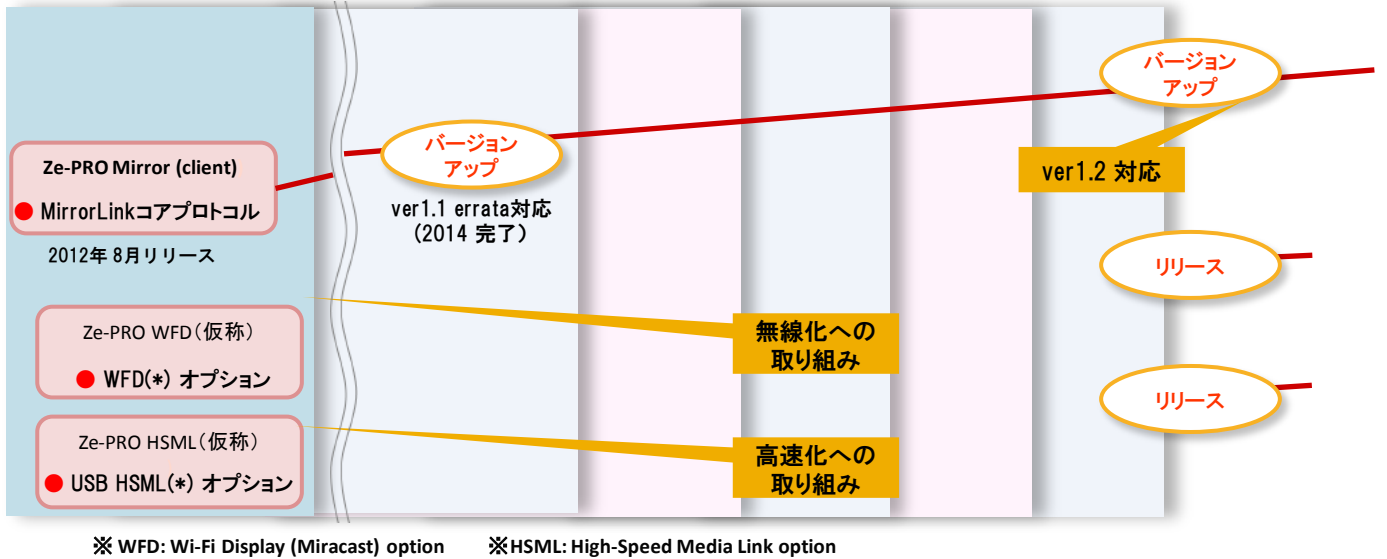
*1: BSP(Board Support Package)は、デバイスベンダーが特定のハードウェアプラットフォーム向けに提供するソフトウェアコンポーネントで、OS、ドライバ等で構成されています。

特長

- 100%日本国内で開発
 - サポートやカスタマイズも安心です。
- 品質を追求
 - QAC/Klocworkによる検証を実施しています。
- 規格の継続的フォロー
 - 規格のバージョンアップに迅速に対応するとともに、必須規格以外の機能も積極的にライブラリ化します。CCCのPlugfestに参加し、相互接続性を強化しています。

ロードマップ

Wi-Fi対応や、WFD/USB HSMLオプションのリリースを予定しています。

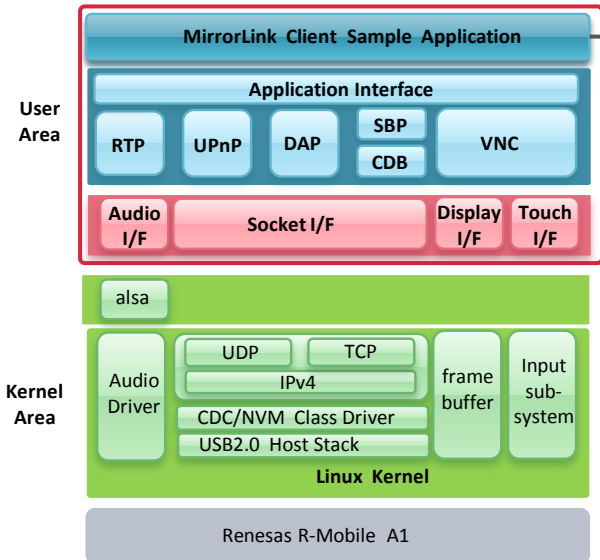


オプション

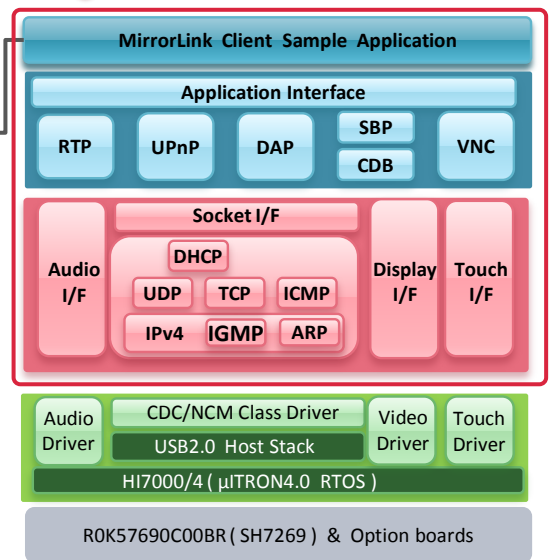
各種OS、CPU毎のアダプテーションレイヤをオプションでご用意しています。このアダプテーションレイヤを使用することで、ターゲットデバイスで簡単にMirrorLinkを試せます。

* 他のCPU/OSIに関しても多くの移植実績があります。まずご相談ください。

例) Linux / R-mobile A1 向けシステム構成図



例) ITRON / SH7269向けシステム構成図



Ze-PRO Mirror (Client)

Adaptation Layer (オプション)

Board Support Package (BSP)

Hard ware

別途購入が必要

Elmic

図研エルミック株式会社

URL: <http://www.elwsc.co.jp> e-mail: info@elwsc.co.jp

横浜本社 〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル2F

Tel:045-624-8002 / Fax:045-476-1102

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-3-22 新大阪長谷ビル8F

Tel:06-6195-7900 / Fax:06-6309-3830

* MirrorLinkは、CCCの登録商標です。その他の記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

* 仕様等は予告なく変更される可能性があります。